

はまぐち せりょうこくさいしやう

濱口梧陵国際賞を黒潮町が受賞

◆ 濱口梧陵国際賞

11月5日が国連総会において「世界津波の日」に制定されたことを契機に沿岸防災技術に係る国内外での啓発および普及促進を図るべく、我が国で150年ほど前に自らの資産を投げうって村人の命を津波から守った濱口梧陵の名前を冠した濱口梧陵国際賞が創設され、この度、同賞を黒潮町が受賞しました。

濱口梧陵国際賞は、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰し、その功績を称え、広く世に知っていただくものであり、町民の皆さんを始め、これまでの黒潮町の地震・津波対策に関する取組が高く評価された結果です。



◆ 受賞者の紹介

【個人】 Philip Li-Fan Liu教授

シンガポール国立大学副学長兼特別教授/コーネル大学名誉教授

Julio Kuroiwa教授

ペルー国立工科大学名誉教授/ペルー国際災害危機軽減会社理事兼本部長

【団体】 黒潮町

◆ 住民と行政の協働による黒潮町の地震・津波対策

平成24年3月31日に内閣府中央防災会議から発表された南海トラフ巨大地震の新想定を受けて、黒潮町ではこれまでに住民と行政が協働して様々な取組を進めてきました。



現地点検



ワークショップ



避難道整備



津波避難タワー

黒潮町の防災の特徴として、地域が持つ防災意識の高さや地区主体の防災活動が継続して行われていることがあげられます。現在も多くの地区で地区防災計画の作成が進められており、地区住民が定期的に集まって話し合いが行われることで、防災意識が低下することなく、目に見える形で防災対策が進められています。今後もこの活動を継続し、地域および住民が自ら必要な備えを進め、行政がリードしてきた防災をさらに地域が主体となり行っていくことが、犠牲者ゼロを目指す黒潮町において、今後最も重要な取組となってきます。



地区合同避難訓練



自主防災会主催シンポジウム

◆ 授賞式および記念講演会

11月1日(水)に海運クラブ(東京都)で開催された授賞式には、当町を代表して大西町長と森岡自主防災会長が出席し、記念講演などを行いました。

本賞の受賞を受け、今後もさらに行政と地域の協力を深め、引き続き防災の取組を一歩ずつ前に進めていきたいと思えます。



濱口梧陵翁のご子孫 濱口家12代 目当主・濱口道雄さんと(写真中央)

○お問い合わせ 本庁 情報防災課 南海地震対策係 ☎43-2188